

有朋自遠方来

外国人による外国人のための日本の美術館案内書

日本全国の美術館が米国人によって紹介されています。

“The Connoisseur's Guide to Japanese Museums(美術愛好者のための日本美術館案内)”という、日本を訪れる外国人が必ず携えている、外国人のための日本の美術館案内書です。本書の初版が出されたのは今から丁度10年前ですが、紹介されている美術館の数は200余に上っています。美術館への交通、美術館の歴史と内容、見どころを盛り、最後に著者のコメント(短評)を添えているのが特色です。著者はローランス・P・ロバーツ氏。元ブルックリン(アメリカ・ニューヨーク市の1区)美術館の館長、また、ローマにあるアメリカン・アカデミーの元館長です。

本書を何よりも信頼性あるものにしてるのは、美術館館長の経験を持つ著者が、アメリカン・フィロソフィカル・ソサイアティとボリンゲン・ファウンデーションという2つの団体から基金を得て、これらの美術館の1つ1つを丹念にご自分の足で訪れていることです。日本中の美術館を1人で巡ることは、恐らく、日本人自身でもまだ達成し得てないのではないのでしょうか。従って、その記述には、美術館経験者によって初めて成し得る細やかな観察が随所に見受けられ、それが繊細な感受性を持って表現されています。

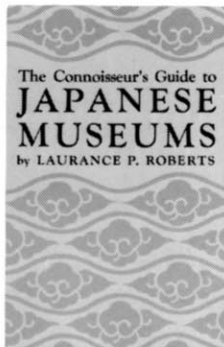
ロバーツ氏は本書の初版に際し

て当館の初代館長矢代氏を訪ねておられますが、今度も去る6月3日に、改訂版作製のために来館されました。初版より10年を経た今、その間における我が国美術館の増加はめざましく、また、旧来の美術館も変化しています。今回、それらを1つ1つ巡り、ロバーツ氏は果してどのような感慨を抱かれたでありましょう。世界的な美術館を持つ米国人の日本美術館に対する見解を知ることは、私達にとっても興味深く、改訂版の完成が待たれます。最後に、本書より²大和文華館、の一部を御紹介いたします。

¹(交通) 吉田五十八教授設計の大変美しい建物を持つこの美術館へは、奈良―大阪間を結ぶ近畿日本鉄道の学園前駅から歩いて行くことができる。駅南口を出て街道を渡り、南に坂道を下りる。最初の道を右に曲って進むと、左手に美術館構内への入口が現われ、素晴らしい自然美に包まれた丘の頂上に建物が見える。

²(短評) (美術館の)質は極めて優れている。中庭のある大部屋にしつらえられた展示も同様に見事である。名札は日本語と英語の両方で書かれている。……………

この美術館こそは誰も見逃してはいけない。精選された美術品の質、建築、環境の美しさは忘れ難い調和を成している。(写真はロバーツ氏夫妻と同氏の著書)



季刊 美のたより No.40

昭和52年 9月5日

発行 大和文華館